

資料 6

No.	「乳幼児期」の「行政課題と改善提案」
1	<p>行政課題 子育て家庭への重層的な相談支援体制整備 改善提案 相談機関の役割の区別化・明確化とネットワーク化の推進</p> <p>行政課題 保育所等での相談支援の推進 改善提案 保護者支援の強化（保護者会の持ち方の改善、保育参加など保護者教育の推進、相談事業の明示など）</p> <p>行政課題 遊びの屋内化への対応 改善提案 屋外遊びの促進（保育施設等での屋外遊びの調査と、目標を定めた改善など）</p>
2	<p>（行政課題）保育の質の向上、保育者の確保 （改善提案）保育所、幼稚園などの量的確保の見通しと同時に、各施設での保育の質の向上への取り組みが必要であり、検討に取り掛かる時期に来ていると考える。質の向上や保育者の確保、関わりの質の向上への取り組み方を検討する委員会の設置、区独自の余裕ある人員配置への補助など検討できないだろうか。</p>
3	<p>保育の質も大切なのですが一度、スタートラインに戻ってから、【質】を考えることも必要かと思います。例えば、0歳児の認可面積は国基準の5㎡なのか？各保育所に園庭はあるのか？児童数に対して保育士の人数は整っているのか？</p> <p>そもそものスタートライン（境遇）が違う場合・場面があるので、「これが質というものだ」と定義しても、それは、提案止まりのものになってしまうと思います。まずは、物的・人的のリストラ（ここでのリストラは前向きな意味で使用します）していきべきだと思います。その後、国基準が（そもそも、対児童数では昭和等から変わっていない部分の基準もあります）変えてこなかった部分を深めていく方が本当の「質」の議論になっていくものと考えております。つまり【児童数30名対保育士1名】いつの時代のサービス提供体制でいけばよいのか？等。このまま進むと、行政にも（いろいろな）負荷がかかってくるのではないのでしょうか。</p>
4	<p>コロナ禍ですが、児童館に見られるようなグループ（ある程度年齢別）の集まりを増やして欲しい。マル障となっている子も入れて欲しいです。リフレッシュひととき保育、保育園での一時預かりの場も増やして欲しい。</p>

No.	「乳幼児期」の「行政課題と改善提案」
5	<p>子ども家庭支援センターにおける見守り支援機能強化が区内全センターで実施されるとのことで嬉しく思っております。上のお子さんが出て、妊娠中の方などは、頻回に行っていただきたいと思います。また、お子さんの多い家庭も同様です。</p>
6	<p>特別支援が乳幼児期から就学期にかけての大きな課題ではないかという認識をお伝えし、その対応の糸口として「就学相談」に注目して事前に質問をしました。案に相違して就学相談の件数はこの3年間で増加していない（おおむね横ばい）というお答えでした。量的な課題がないとすれば、保育施設・療育施設としっかり連携して就学につなげる支援を考えていけたらと思います。</p> <p>コロナ禍での子どもたちへの支援についても、重要なテーマだと思います。幼稚園の立場から必要なことがあれば意見を述べたいと思います。</p> <p>話し合うべきテーマは多くあると思います。会議の形式について。今年度6回の会議が予定されていますが、その全てが理事者側の全員が出席する形なののでしょうか。これまでの形の踏襲でなく、何回かは委員が自由活発に議論する形にしていただきたいと提案します。</p>
7	<p>コロナ禍で、両親がテレワークの家庭も増え、自宅での子育て方法がわからず、ストレスが子どもにくる場合も。 →オンライン相談や一時保育サービスの充実を期待します。</p> <p>最近父子家庭も増えているように感じますが、実態の把握とヘルパーさん等の支援の充実を提案します。</p>
8	<p>保育の質について (行政課題) 区立保育園と私立保育園のカリキュラムの差 同じ保育料なのに、区立では父母会が動かないとイベントが少ない（リトミック・おはなし会・英語等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育料と別に会費が必要 ・保護者負担が大きくもめやすい ・公私の差が大きく感じる <p>(改善提案) 区立保育園を巡回する専任者を選び、区の予算から謝礼をお渡しすることで充足できないか。</p>

No.	「乳幼児期」の「行政課題と改善提案」
9	<p>行政課題 家庭育児の充実化（外に出なくてもつながりができる） 出産前の母の地域とのつながり作り</p> <p>改善案 親子広場のオンライン化 オンラインでのおしゃべりひろば</p> <p>出産前の親の対策講座（育児ストレスとの向き合い方など） 出産前から児童館、育児支援センターや親同士のつながりづくりをしておく。</p>